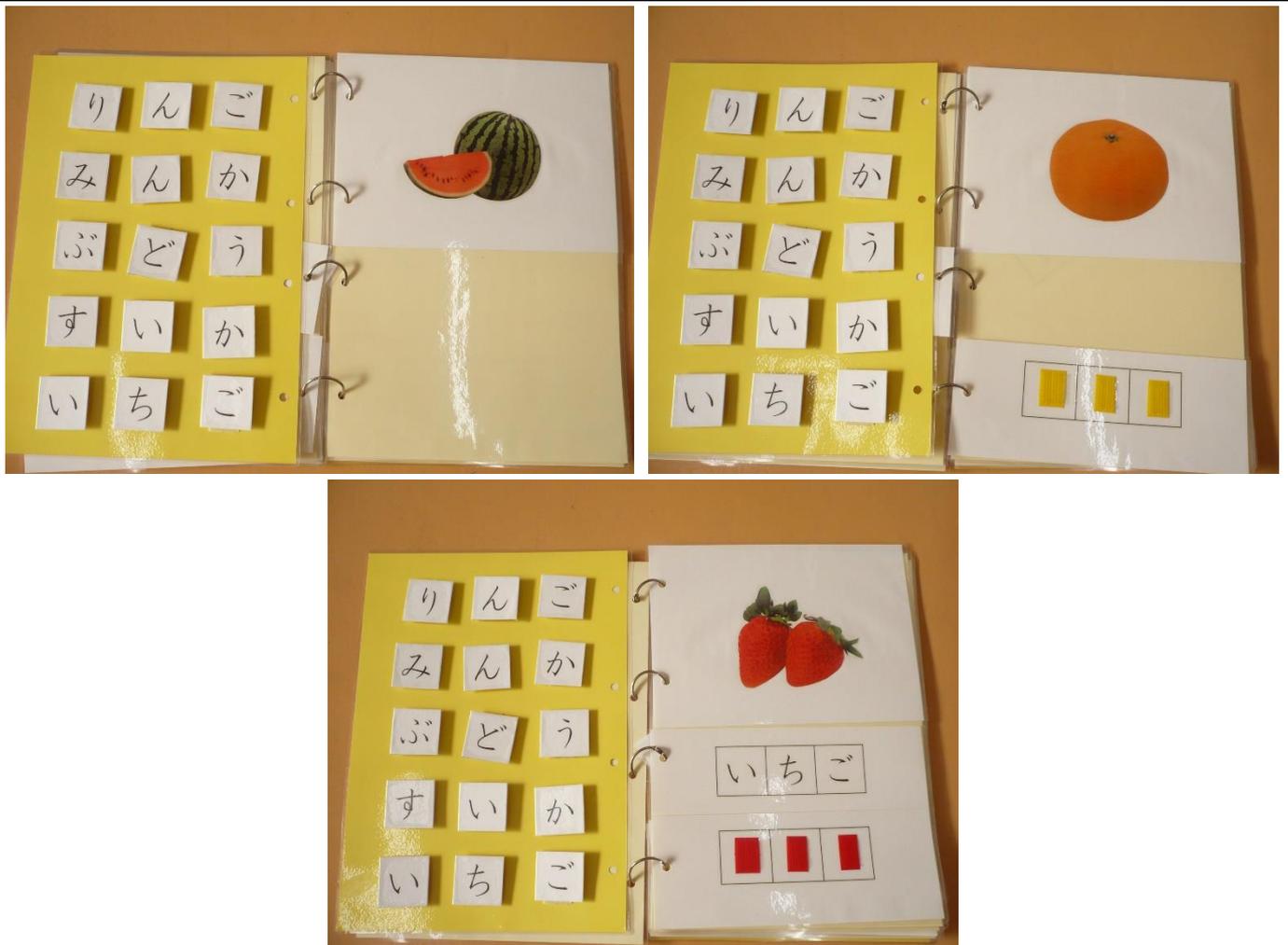


教材教員名	絵&文字カードブック	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	文字に興味を持とう (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 絵カードを見て、果物名を言ったり、文字カードとマッチングしたりすることができる • 絵カードを見て、文字チップで果物名を並べることができる • 文字カードを正しく読むことができる 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 絵カードを見て、果物名を答える
- 文字カードを読む
- 絵カードを見て、果物名を文字チップで並べる

<材料>

絵カード、文字チップ、文字カード

<工夫点>

絵だけを見て答える。絵と文字カードを組み合わせる。絵を見て文字チップを並べるなど、生徒の実態に応じて、カードの組み合わせを変えて取り組ませることができるようにした。

<効果>

絵を見て文字チップを正確に並べたり、文字カードを正しく読むことができるようになった。

教材教具名	文字チップ並べ	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 文字に対する興味をもつことができる。 • 食べ物の単語を正しく並べることができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

食べ物の写真を見て、バラバラになった文字チップを並べ声に出して読む。

<材料>

ホワイトボード、文字チップ

<工夫点>

児童の興味ある食べ物を使用した。

<効果>

文字に対する興味を持つことができた。

似た片仮名「ン」と「ソ」の違いを理解できるようになった。

教材教員名	単語構成（食べ物）	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	絵の食物の名前を構成する		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 文字チップを外しておく。
- 絵に合わせて、単語を構成する。

<材料>

紙、パウチ、マグネットシート

<工夫点>

生徒の興味のある食物を題材とした。

<効果>

教材教具名	フラッシュカード	分類	記号を使う学習 — 単語
		授業名	中学部 国語・数学

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • ひらがなの文字と音とのマッチング • 漢字の読みの習得 • 語彙の拡充 • 自動販売機でジュースの購入ができるようにする。
-----	--

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- フラッシュカードとして使用。
- ジュースのカードに関しては、硬貨のイラストに実際の硬貨をマッチングさせる。

<材料>

- 紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

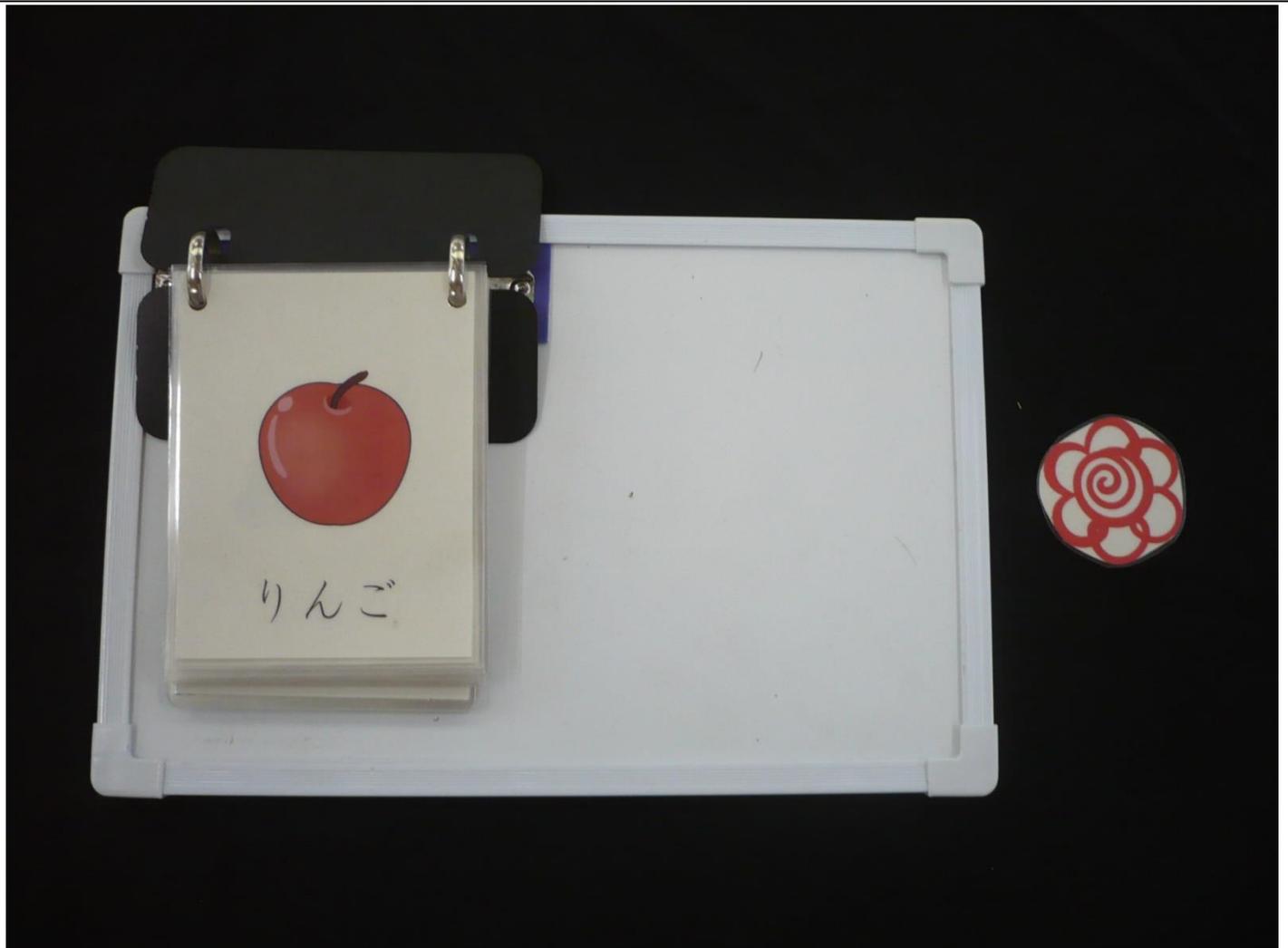
- 反対の意味の言葉が書かれたカードは、フラッシュカードとしてではなく、片面だけを使用することもあります。

<効果>

- 読めるひらがなが増えた。
- 読める漢字が増えた。
- 表現できる言葉が増えた。
- 金額と硬貨の関係を理解するのに役立った。

教材教員名	単語の書き	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	イラストの名称を書く		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

絵に合わせて、単語をホワイトボードマーカーで書く。

<材料>

紙、パウチ、マグネットシート、リングファイル、ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー

<工夫点>

- ・文字チップで単語の構成ができるようになった生徒に対して、次の段階として用意した。
- ・文字チップを使用した物と同じ教材にすることで取り掛かりやすくした。

<効果>

教材教員名	動作を表すことば	分類	記号を使う学習 - 文章
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動作を表すことばの習得。 動作化することで児童からの言語表出につなげたい。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・イラストを見て、その意味を表すことばが書かれたカードを選ぶ。
- ・完成した文を読み、それらを動作化する。

<材料>

ファイル、A4用紙、マジックテープ、動作を表すための具体物

<工夫点>

- ・始まりと終わりが分かるようにファイルでとし、ブック形式にした。

<効果>

- ・練習を重ねるたびに、ことばを習得し動作化できるようになった。

教材教具名	二語文の構成	分類	記号を使う学習 - 文章
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	絵に合わせた文を構成する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 単語のピースを並べる。
- 絵に合わせて、文を構成する。

<材料>

紙、ラミネートシート、ホワイトボード、ファイル、マグネット

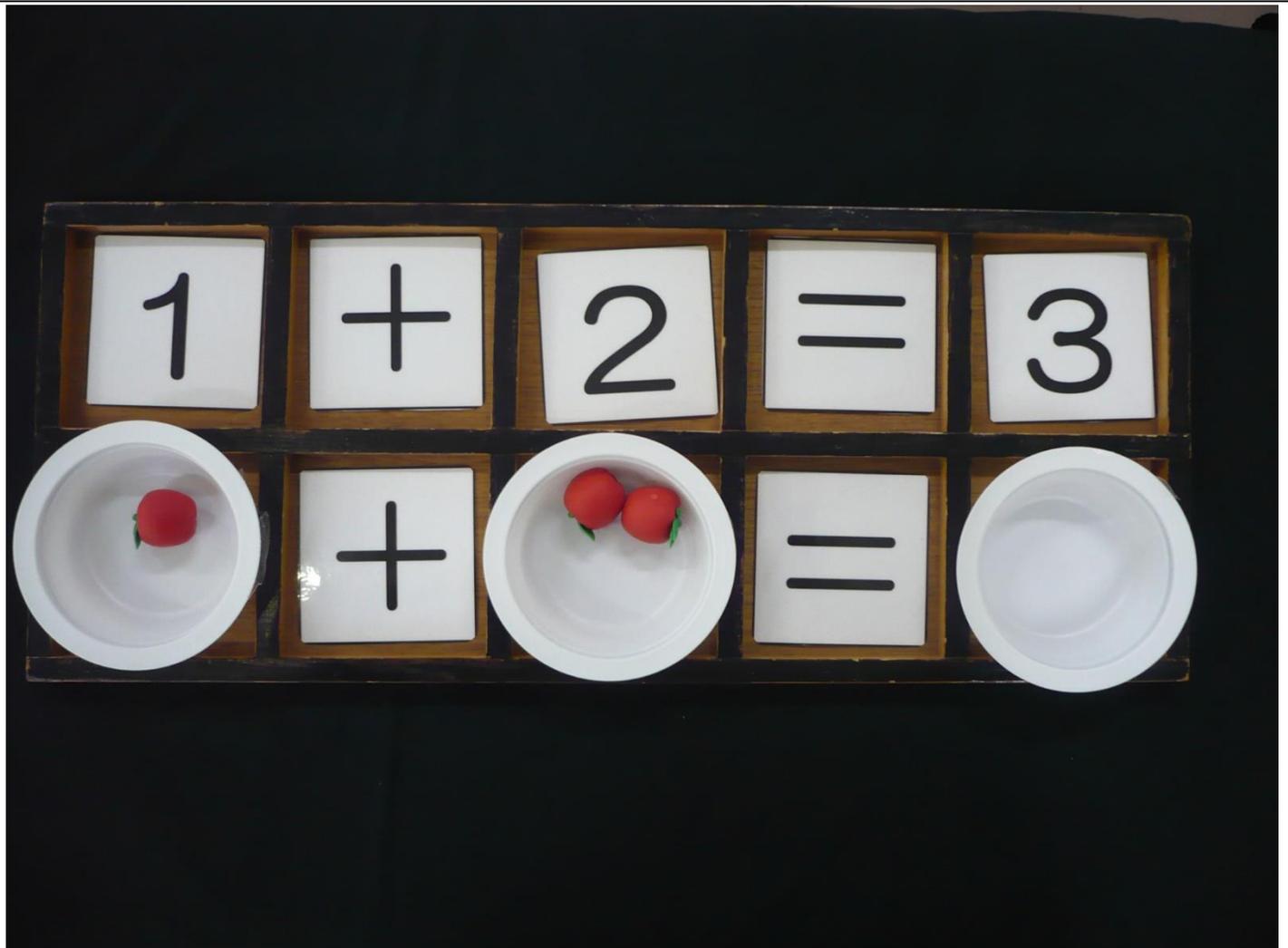
<工夫点>

日常生活で使う文を題材とした。

<効果>

教材教具名	たし算	分類	記号を使う学習 - 計算
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足すと増えるという足し算の概念をつかむ。 ・ 日常生活で活用していきたい。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・ たし算の答え (数字カード) を選び、並べた数式を声に出して読む。
- ・ 導いた答えの数字の数だけりんごの模型を並べる。

<材料>

たし算用の枠、数字カード、りんごの模型、カップ

<工夫点>

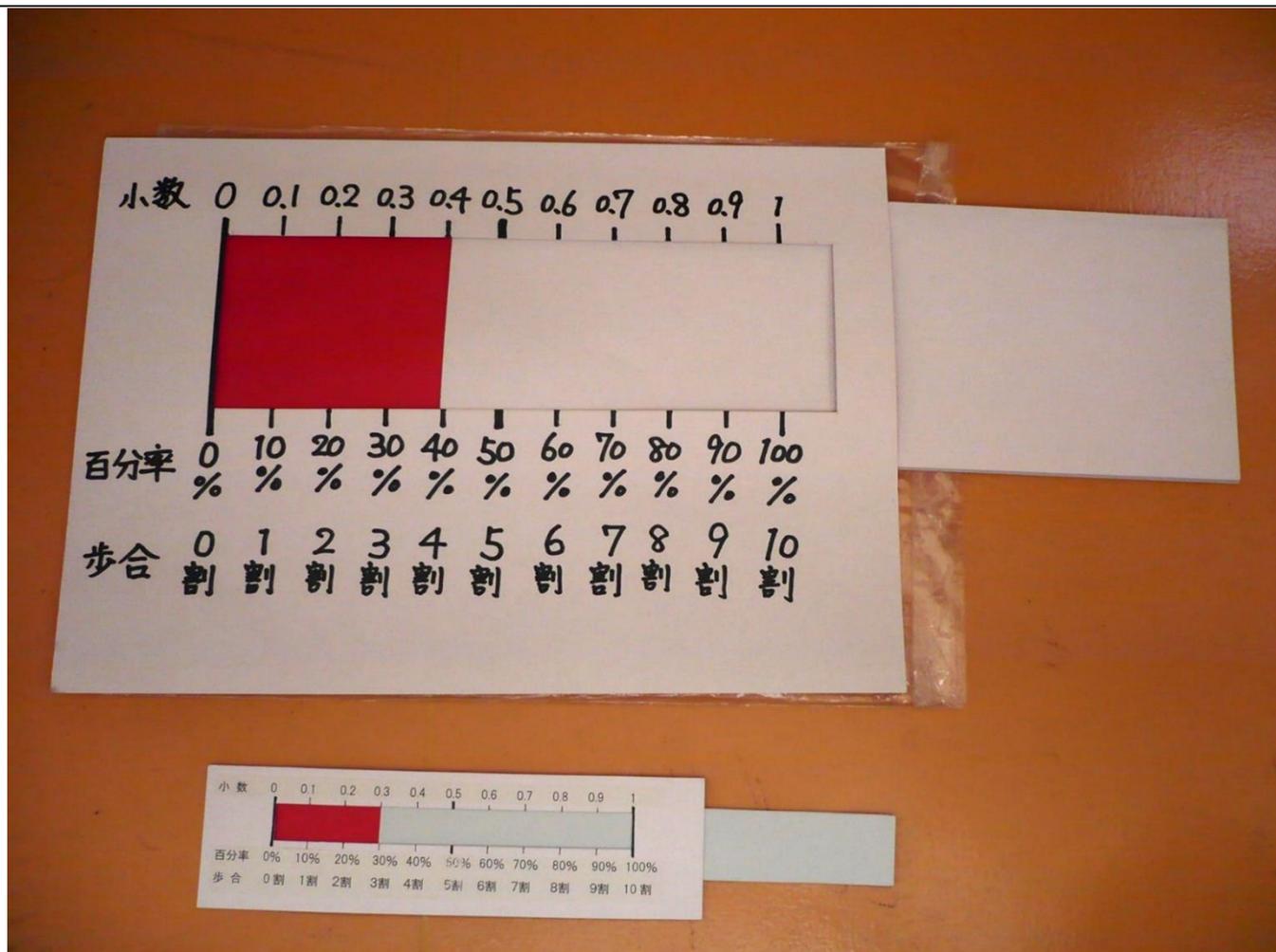
- ・ 数字カードだけではなく、具体物を並べることで、数量をつかむことができるようにした。

<効果>

- ・ 答えが5までのたし算を理解することができた。

教材教員名	割合グラフ	分類	記号を使う学習 — 計算
		授業名	数学（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・百分率⇔小数、歩合⇔小数の変換をできるようにする ・全体に対して、どれくらいの量なのか視覚的にとらえる ・割引の計算につなげる 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

目盛りを合わせ、「30%⇒0.3」「7割⇒0.7」の様に変換する練習をする。全体に対する量も同時に確認する。

<材料>

厚紙、色画用紙

<工夫点>

厚紙を貼り合わせるときに、すき間を作って貼り合わせると、使いやすくなる。

<効果>

小数への変換をスムーズに行えた。

視覚的にとらえやすいので、「8%⇒0.8」などのミスが減った。

教材教具名	時計の学習	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	時計の時間を読み、理解することができる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

時計に示された時間をボードに貼って読む。
 ボードに示された時間を時計の針を動かして示す。

<材料>

時計、ホワイトボード

<工夫点>

時と分で赤と青で分け、分かりやすく学習できるようにした。

<効果>

時計を読むことができるようになった。

教材教員名	時計の読み方 1	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	時計を見て、〇時〇分と読むことができる		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 時計の時刻の読みのカードを選んで貼り付ける。
- 難しい場合はアナログ時計を操作し、長針短針の読み方を確認する。

<材料>

紙、パウチ、マグネット、時計はHP:ちびむすドリルよりダウンロードし使用。

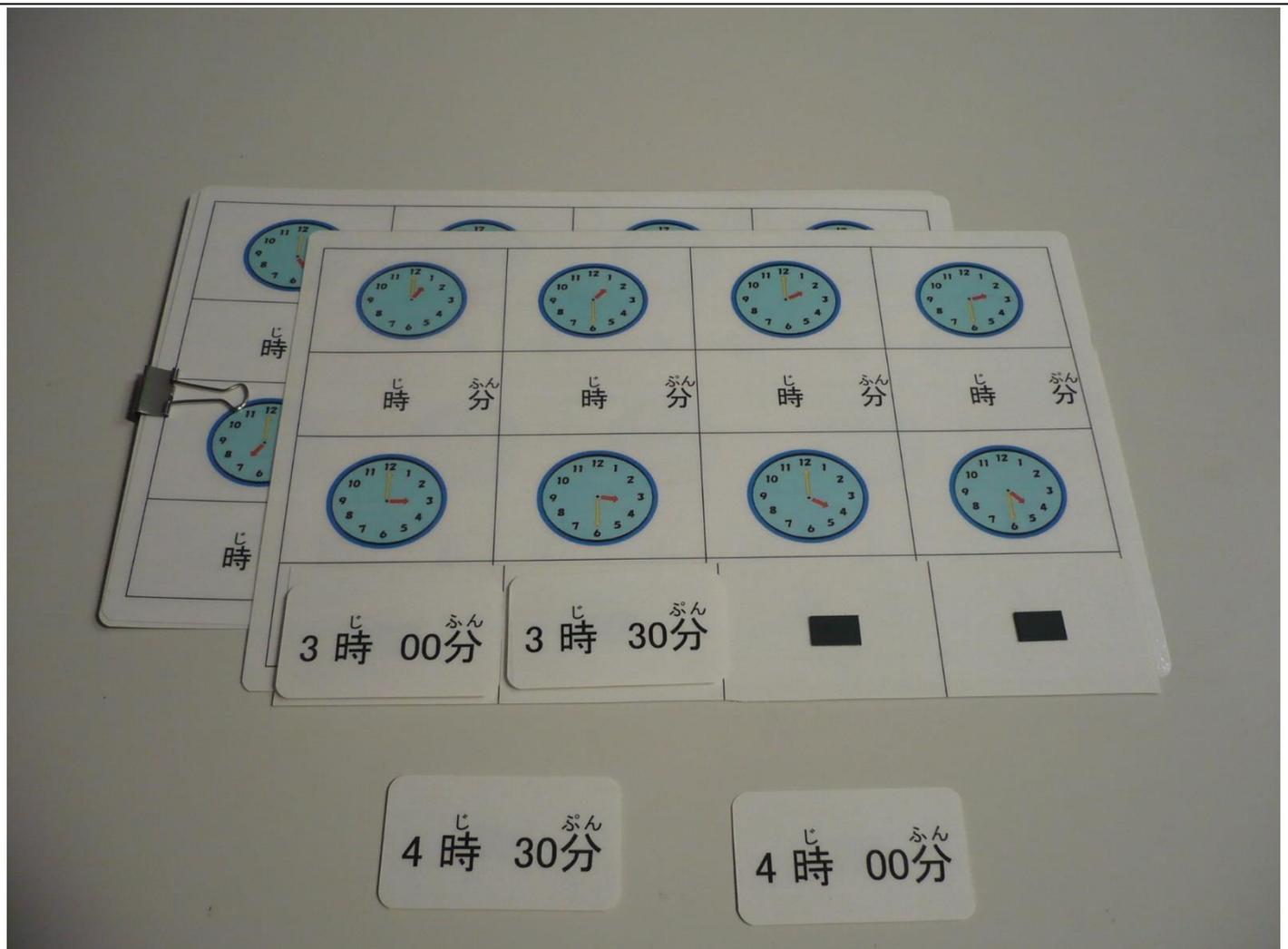
<工夫点>

アナログ時計の操作をしながら確認できるようにした。

<効果>

教材教員名	時計の読み方2	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	時計の針を読みとり、〇時〇分と読むことができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

時計の表示を読み取り、答えのカードを貼り付ける。

<材料>

紙、パウチ、マグネットシート

<工夫点>

カードで正答できるようになったら次の段階として、ホワイトボードマーカーで自分で記入しても学習できるようにした。

<効果>

教材教具名	アナログ時計とデジタル時計のマッチング	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	
ねらい	・30分単位で時計を読むことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・アナログ時計、デジタル時計、時間の読み方のカードをあわせていく。

<材料>

- ・マジックテープ ファイル ボール紙 ラミネート

<工夫点>

- ・マジックテープを活用することで、自分で貼れるようにした。
- ・ファイルに複数入れることにより、一人で学習をすすめられるようにした。

<効果>

教材教具名	お金ものさし	分類	記号を使う学習 - お金
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	お釣りのある買い物の金額の目安に使用		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

購入する商品の金額をマーカーで引き、何円出すと買う事ができるか、その目安に使う。

<材料>

普通紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

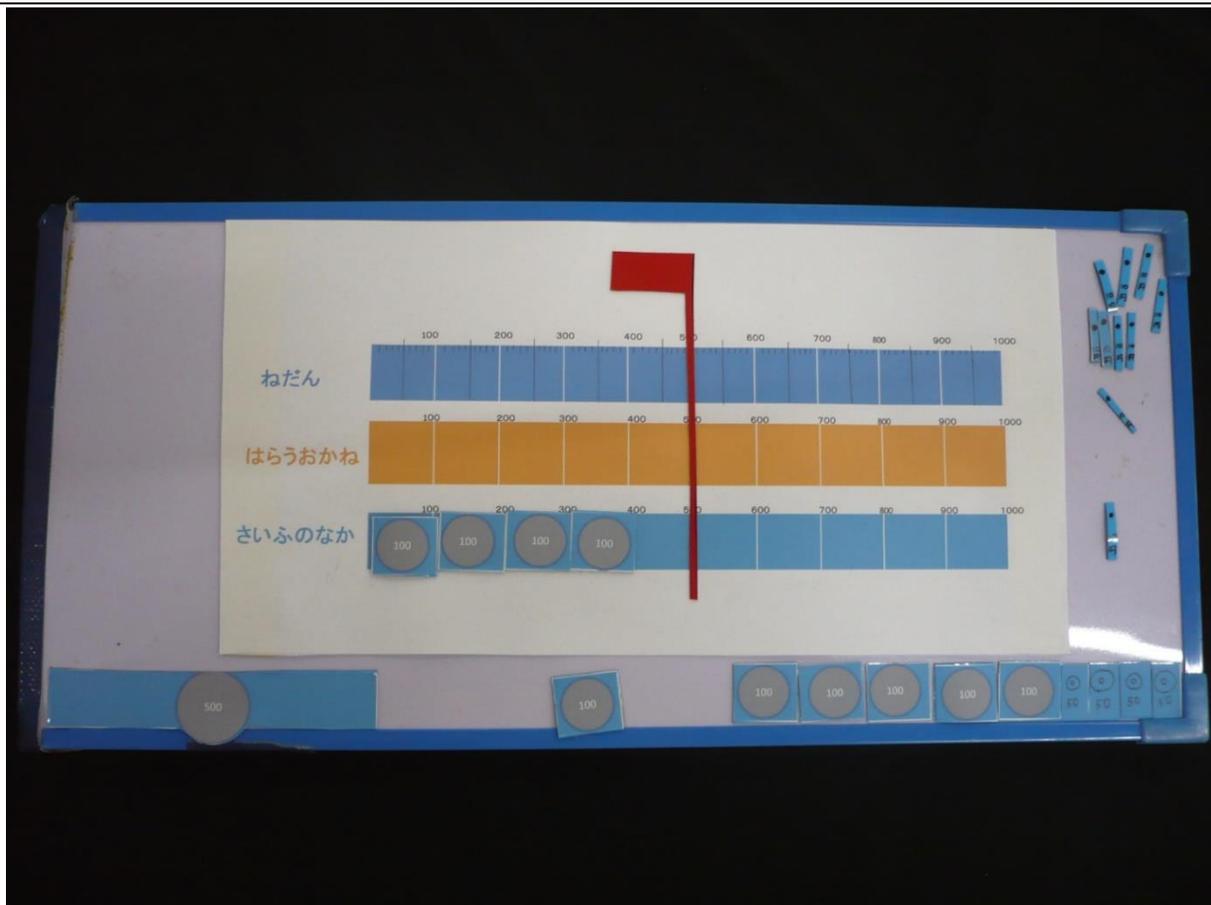
裏面に 500 円や 1,000 円も添付し、組み合わせて使用する事もできる。

<効果>

例えば、460 円の買い物で、いくら出すと買う事ができるか、硬貨を数える、シートの上に硬貨を実際に置くなどして、見通しを持たせる事ができる。

教材教具名	買い物の学習ボード	分類	記号を使う学習 — お金
		授業名	
ねらい	位置関係(視知覚認知)の学習		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ① 買うものの値段を計算し、“ねだん”のメモリに赤ラインを動かす。
- ② お財布の中のコインと同様に“さいふのなか”の段にコインのマグネットをはる。
- ③ “さいふのなか”のマグネットを“はらうおかね”の段に赤ラインを越えるまで移動させ、実際に支払うコインを把握する。

<材料>

ホワイトボード、マグネットシート、紙

<工夫点>

数量の比較を目で見確認できるように作成した。

【参考文献】進 一鷹著 知的障害・自閉症・学習障害の子どもへの学習支援 明治図書

<効果>